

CASBEE[®]-不動産

【集合住宅】

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-不動産 2024年版

v1.0

建物概要					
建物名称	willDo笹口	敷地面積	285 m ²	評価の段階	運用段階評価
建設地	新潟県新潟市中央区	建築面積	173 m ²	評価の実施日	2025年6月2日
用途地域	商業地域、準防火地域	延床面積	1,222 m ²	作成者	福士 明子
建物用途	共同住宅	地上8F		不動産評価員番号	ふ-001189-27
竣工年月	2007年2月21日	階数		確認日	2025年6月9日
直近の大規模改修実施年月	—	構造	RC造	確認者	福士 明子
		平均居住人員	56 人	不動産評価員番号	ふ-001189-27
		年間使用時間	8,760 時間/年		

評価結果									
73.1 /100		合計		ホールライフカーボンの評価				評価しない	
(得点 / 満点)									
S ランク:★★★★★		Ⅳ	78						
A ランク:★★★★★		Ⅳ	66						
B+ランク:★★★★		Ⅳ	60						
B ランク:★★★		Ⅳ	50						
		Ⅳ							
ポイントは小数点第1位までの表示とする									
				取組項目数: A1-A5			B1,B3-B5		
				B6-B6			C1-C4		

1. エネルギー／温暖化ガス					
評価	最大加点	必須項目	指標 (*は参考値)	評価値	
適合	加点 1	根拠等: 省エネルギー基準への適合、目標設定、モニタリング、運用管理体制	一次エネルギー(目標値)	107	MJ/m ² ・年
15.0	20 / 15	1.1 使用・排出原単位(計算値)	一次エネルギー(計画値)	107.6	MJ/m ² ・年
		根拠等: 実績値より	二次エネルギー(*)	11.0	kWh/m ² ・年
			GHG排出量(*)	4.7	kg-CO _{2eq} /m ² ・年
5.0	5	1.2 使用・排出原単位(実績値)	共用部の評価		
		根拠等: エネルギー消費量実績値一覧参照	一次エネルギー(実績値)	107.6	MJ/m ² ・年
			二次エネルギー(*)	11.0	kWh/m ² ・年
			GHG排出量(*)	4.7	kg-CO _{2eq} /m ² ・年
1.0	- / 5	1.3 省エネルギー(仕様評価)	導入された対策項目数	1.0	項目
		根拠等: ③	利用率		%
3.0	5	1.4 自然エネルギー(間接利用)			
		根拠等: 導入していない			
24.0	30.0	合計			

2. 水					
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値	
適合		根拠等: 目標設定、モニタリング、運用管理体制	水使用量(目標値)	17.8	L/m ² ・年
	0	2.1 水使用量(計算値)	評価しない		
1.0	5	2.2 水使用量(仕様評価)			
		根拠等: 特になし	取組数		項目
5.0	5	2.3 水使用量(実績値)	水使用量(実績値)	18.0	L/m ² ・年
		根拠等: 水使用量実績値一覧参照			
6.0	10	合計			

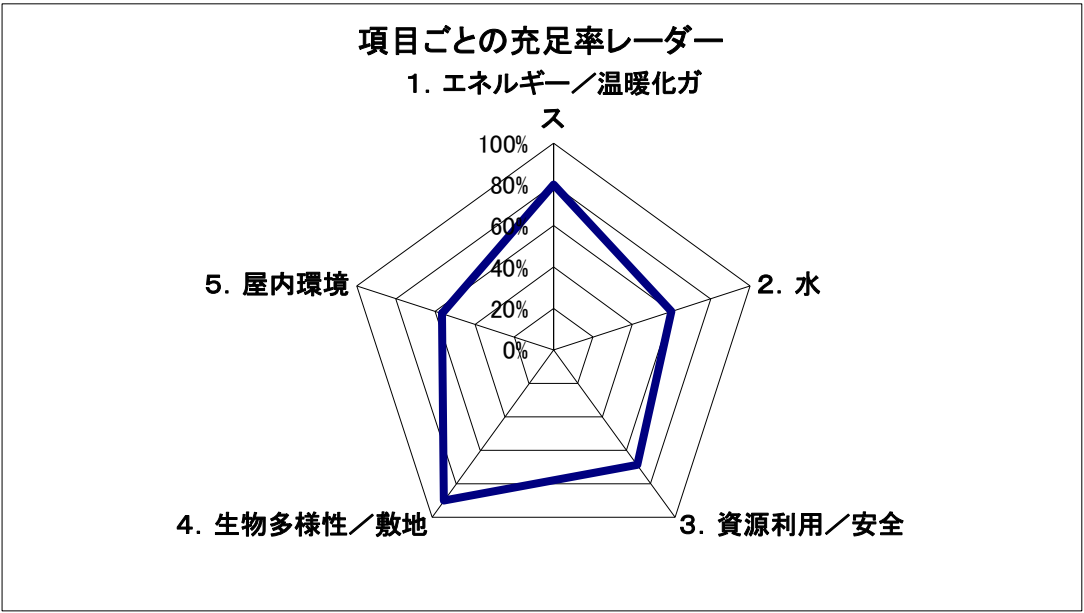
3. 資源利用／安全					
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値	
適合		根拠等: 新耐震基準への適合またはIs値、If値	なし		
3.0	5	3.1 高耐震・免震等	3.1.1と3.1.2の点数の高い方で評価		
3.0		3.1.1 耐震性	根拠等: 建築基準法に定められた耐震性を有する		
3.0		3.1.2 免震・制震・制振性能	根拠等: 導入していない		
4.5	5	3.2 再生材利用率・廃棄物処理負荷抑制	3.2.1と3.2.2の平均で評価する		
5.0		3.2.1 再生材利用率	①と②の平均で評価する		
5.0		① 躯体材料	構造耐力上主要な部分にリサイクル資材を用いている	リサイクル材品目数(非構造材)	4 品目
4.0		② 非構造材料	リサイクル資材を用いている		
	加点 1	3.2.2 廃棄物処理負荷抑制	根拠等: ①、②、③、⑥	取組数	4 ポイント
3.0	5	3.3 躯体材料の耐用年数	経過年数＋今後の想定耐用年数		年
		根拠等: 建築基準法に定める対策が講じられている	3.4.1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の平均		
3.2	5	3.4 主要設備機器の更新必要間隔／設備の自給率向上／維持管理／バリアフリー	更新年数の平均値	18	年
4.0		3.4.1 主要設備機器の更新必要間隔	根拠等: 計算式参照		
1.0		3.4.2 設備(電力等)の自給率向上	自給率向上の取組数		項目
		根拠等: 特になし	維持管理に関する取組数	13	ポイント
5.0		3.4.3 維持管理	根拠等: ①～⑥		
3.0		3.4.4 バリアフリー対策	バリアフリー法の建築物移動等円滑化基準項目の半分以上を満たしている		
		根拠等:			
13.7	20	合計			

4. 生物多様性／敷地					
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値	
適合		根拠等: 特定外来生物・未判定外来生物・生態系被害防止外来種を使用しない	なし		
		根拠等: 特定・未判定外来生物、生態系被害防止外来種を使用していない			
10.0	10	4.1 生物多様性の向上	②取組表による場合のポイント数	3	ポイント
		根拠等: ①、③、⑤			
0.0	0	4.2 土壌環境品質・ブラウンフィールド再生	なし		
		根拠等: 土壌汚染対策法に基づく汚染除去等の区域指定にない			
5.0	5	4.3 公共交通機関の接近性			
5.0		4.3.1 公共交通機関の接近性	根拠等: 笹口 バス停 徒歩1分	3	分圏内
		4.3.2 交通結節点への接近性、敷地周辺への配慮	評価しない		
3.0	5	4.4 自然災害リスク対策	リスクの合計数	3	種類
		根拠等: リスクの合計数は3種だが、有効な防災対策を実施している			
18.0	20	合計			

5. 屋内環境					
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値	
適合		根拠等: 建築物衛生管理基準の準拠または質問票への適合	なし		
		根拠等: 質問票への適合			
		5.1 自然利用			
2.3	3	5.1.1 屋光利用	5.1.1の点数×2/3＋5.1.2の点数×1/3		
2.0		5.1.1.1 自然採光	開口率	27.3	%
3.0		5.1.1.2 屋光利用設備	屋光利用設備	1	種類
		根拠等: 計算式参照			
1.0	3	5.1.2 通風・排熱			
		根拠等: 居室に自然換気開口がある			
1.0	3	5.1.3 眺望・ゆとり	天井高		m以上
		根拠等: レベル2を満たさない			
		5.2 健康・快適			
1.0	2	5.2.1 暑さ・寒さ			
		根拠等: レベル2を満たさない			
2.0	2	5.2.2 主要な居室の冷房・暖房			
		根拠等: 居室に冷暖房装置を実装している			
2.0	2	5.2.3 化学汚染物質対策・適切換気			
		根拠等: 化学汚染物質を抑える建材を用いている			
1.0	2	5.2.4 騒音・遮音			
		根拠等: レベル2を満たさない			
1.0	3	5.3 防犯対策			
		根拠等: レベル2を満たさない			
11.3	20	合計			

6. ホールライフカーボンの評価 [任意]					
評価	最大(加点なし)	指標	評価値		
	5	取組数	A1-A5		項目
			B6-B6		項目
			B1,B3-B5		項目
			C1-C4		項目
↑ 評価しない場合は空欄					

willDo笹口



環境性能の特徴

- ・エネルギー使用の計算値/実績値、水使用の実績値が高得点であり省エネルギー性能が高い。
- ・新耐震基準を満たしている。
- ・構造耐力上主要な部分及び非構造材料にリサイクル資材を使用している。
- ・敷地内の生物多様性向上に取り組んでいる。
- ・徒歩1分圏内に交通公共機関(バス停)があり利便性が高い。
- ・自然災害リスクへの対策が講じられている。
- ・維持管理が適切に行われており、屋内環境も良好である。